

## 第30回ふれあもりやま展 開催

市民の皆さまや学校園から応募いただいた人権啓発作品(ポスター、作文、詩、4コマ漫画、標語)のうち、入選作品約240点を展示します。

新型コロナウイルス感染症と人権をテーマとした啓発コーナーやDVD上映コーナーもあります。ぜひご来場ください。

**時**2月19日(金)～26日(金) 午前9時～午後5時  
(2月24日(水)は休館、最終日は正午まで)

**所**市民ホール 展示室



関守山市まちづくり人権教育推進協議会(人権政策課内)

☎・📠(582)1116 📠(582)0539

## 文化・スポーツ課からお知らせ 佐川美術館展覧会と「守山市民の日」

### 第12回こども絵画コンクール 優秀作品展

**時**2月20日(土)～3月7日(日) 午前9時30分～午後5時(毎週月曜日は休館、最終入館は午後4時30分まで)

※会期、開館時間、休館日は変更する場合がありますため、佐川美術館ホームページをご確認いただくか、電話で下記へお問い合わせください。

**料**一般：1,000円、高校・大学生：600円、中学生以下：無料(保護者同伴要)

※障害者手帳を提示で付添者1人のみ無料、専門学校・専修学校は大学に準じる。

### 守山市民の日

守山市民は無料で入館できます。

**時**2月26日(金)

**特**市内在住であることが分かるもの



関佐川美術館 ☎(585)7800



佐川美術館  
アートコラム④

## 幸せの黄色は美術品を守る

佐川美術館  
主任学芸員・馬場まどか



明るくて元気が出るビタミカラー。『黄色』には人々を幸せに導いてくれるようなイメージがあります。一概に黄色と言ってもその種類は多く、レモンイエローや山吹色など、さまざまな色があります。中でも鬱金と呼ばれる黄色を皆さんはご存じでしょうか。難しい漢字ですが、これで『ウコン』と読みます。英語でターメリックと呼ぶと言えば、分かる人も多しはず。そう、スパイスでもおなじみのあの食材、『ウコン』の色のことです。鬱金はたくあん漬の着色や、漢方薬としても広く使用されています。実は、鬱金の黄色は美術館にとっても大切な色なのです。

そもそも美術品は展示期間以外、どのように保管されていると思いますか？美術品はともデリケートなため、湿度度が管理された収蔵庫に保管されています。絵画を例にその保管方法を説明すると、紙や合板製のタトウ箱と呼ばれる丈夫な箱の中に作品を入れるのですが、その際、箱に直接作品を入れるのではなく、作品を傷めないよう黄色の布袋(通称：黄袋)に包んでから箱に入れます。その黄袋を染めるのに使用しているのが鬱金なのです。

日本では平安時代より染料として用いられ、華やかな色が好まれた江戸前期には、着物の地色としても人気を博した鬱金。その染料で染めた黄色の布には、虫除けや保温の効能があるとされています。美術品はともデリケートだと先にお話ししましたが、虫や湿度は本当に大敵。先程述べた鬱金の作用は、美術品を守るのにピッタリというわけですね。理にかなった先人達の知恵に驚かされます。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話☎(585)7800でお問い合わせください。